

②裏砂漠ツアー 田中 豊

明け方からの雨も出発時には上がり、まずまずの空模様。大島温泉ホテルを八時に出発。

コースは通常の裏砂漠コースにL B II 溶岩観察、噴気孔観察と樹海の植生等観察が加わり、往復十キロ、約六時間の長丁場であった。

再生の一本道で植物の再生過程を観察後、横道に入り1809年B火口列から二次的に流出したL B II 溶岩の先端部分を観察。地球のダイナミックな活動の一端を垣間見る。

通常コースに戻り、ジロックガーデンでは童心に帰り、溶岩流が作り上げた造形動物で楽しんで後、いよいよ裏砂漠に突入。先の台風で様相は一変。あるはずの芭は根元からむしり取られ、観測機器用の太陽光パネル

は飛んできたスコリアで無数の傷、自然の脅威を目のあたりにした。しかしこのように痛めつけられたなかでも植物は必死で再生に挑んでいた。イタドリは地中深く(三ツコースにL B II 溶岩観察のため、新たな芽を出して噴気孔観察と樹海の植生等観察が加わり、往復十キロ、約六時間の長丁場であった。

再生の一本道で植物の再生過程を観察後、横道を回り、ジロックガーデンに入り1809年B火口列から二次的に流出したL B II 溶岩の先端部分を観察。地球のダイナミックな活動の一端を垣間見る。

通常コースに戻り、ジロックガーデンでは童心に帰り、溶岩流が作り上げた造形動物で楽しんで後、いよいよ裏砂漠に突入。先の台風で様相は一変。あるはずの芭は根元からむしり取られ、観測機器用の太陽光パネル

大会二日目ホテルを8時30分に出発。島を

③海岸線ジオツアー 荒波とマグマが織なす万華鏡 加瀬久美子

浦は10kmで300〜1000年前に出来た海食崖なのに」と思ってしまった。後にガイドさんから「銚子の屏風ヶ浦にはかないません」と。最後は「赤毛」に。ここでは岩全体が真っ赤だった。この岩が真つ赤だった。この岩が真つ赤だった。この岩が真つ赤だった。

波浮港に行く道路沿いに海岸植物のツワブキ、アシタバ、トベラ、シヤビ色になったそうだ。ここ迄来たら高波が3.5mの高さに、4mになつたら船は欠航との事。ハラハラしながら岡田港に。港でのガイドの皆さんや観光関係の方々総出で出来た波浮池の海岸側が津波で崩れたためにできた風よけの港で思

のほか小規模で現在は漁船が係留されているだけです。その他の見学ジオサイ

偶数月の第1日曜日(日)に当たる12月1日(日)午前9時から、銚子ジオパーク市民の会とナルク銚子合同で、長崎海岸の海水浴場近くのゴミ拾い

③海岸線ジオツアーに参加して 川原 俊久

偶数月の第1日曜日(日)に当たる12月1日(日)午前9時から、銚子ジオパーク市民の会とナルク銚子合同で、長崎海岸の海水浴場近くのゴミ拾い



長崎海岸清掃

を実施しました。当日は、市民センターで福祉祭り、観音様でグリーンマーケットなどの行事もあり、参加者は16名でした。いつも漂流物がいっぱい

の長崎海岸ですが、海水浴場近くの銚子市の空き地に車を駐車し、その海寄り、特にゴミがいっぱいだったので、その場所を中心に主にプラスチックごみを拾いました。わずか一時間で30袋近くのゴミと大木の

の一部を海岸からコンクリートの土手までロープで引き上げました。ゴミ拾いで冷えた体は温かいコーヒーが温めてくれました。

長崎海岸のゴミ拾いの中で、珍しいものを房州会員が見つけて説明してくれました。一つは亀の甲羅の一部、大きさは10cm×10cmくらいでした。もう一つはホンビノ貝

と云って外来種で、外国航路の船のバラスト水で運ばれてきて1800年代から日本に生息しているそうです。(藤身)